

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
税務会計論	田中 里美	講義	2		1, 2, 3	1, 2, 5	2, 3, 4
授業概要 授業目的	<p>税務会計論では、まず課税の概念について学習し、次に企業の法人課税を中心に学習する。加えて消費税について課税の公平の観点から考える。</p> <p>課税の概念は、憲法から課税の公平について学ぶ。公平の概念には複数あり、どのように課税の公平について考えるのかは重要な課題である。次に、法人課税の仕組みについて学ぶ。益金損金の仕組みや、企業会計とのつながりについて考える。最後の、日本の法人課税の実態を分析する。</p>						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 課税の公平について学ぶ 2 企業課税の仕組みについて学ぶ。 3 現在の法人課税状況について学ぶ。 						
回	学習内容						
1	ガイダンスー税務会計論で学ぶこと。						
2	課税の公平についてー応能負担原則						
3	課税の公平についてー所得税と消費税						
4	企業課税の仕組みー確定決算主義、租税法律主義						
5	企業課税の仕組みー法人課税の歴史						
6	企業課税の仕組みーシャープ勧告						
7	これまでの総括と中間試験						
8	法人課税の実態ー実質法人税負担率の算定の仕組み						
9	法人課税の実態ー実質法人税負担率の分析結果と推移						
10	内部留保と法人課税						
11	減価償却制度と法人課税						
12	受取配当益金不算入について						
13	租税特別措置						
14	これまでの総括と期末試験						
15	試験結果の説明と講評、学生からの意見の集約と講評						
予習内容 復習内容	<p>予習：教科書に目を通しておく。</p> <p>復習：ノートの整理と、教科書に目を通す。</p>						
教科書	『会計制度と法人税制』唯学書房						
成績評価	中間試験 50%、期末試験 50% 合計 100%						
実務経験							
その他 特記事項	会計学を履修していることが望ましい。						